

県から募集するテーマ

協働事業提案 募集テーマ	学校を活用した地域に開かれた日本語教室
募集テーマに対する県の課題認識等について	<p>外国人の定住化が進むなか、伸びの大小はあるものの、外国人児童生徒は増加する傾向にあります。</p> <p>県では、外国人児童生徒に日本人と同等の教育を受ける権利の保障を目指していることから、今後も外国人の公立高等学校への入学が増加すると予想されます。</p> <p>児童生徒は学校教育の中で日本語を習得する機会を得ていますが、その保護者や家族は日本語教育を受けられないことから、日本に定住していても、教育・居住・医療・福祉など生活に必要な情報を十分に受け取ることができない状況にあります。</p> <p style="color: red;">【注】今回募集する協働事業で解決を目指す課題について、県の現状に対する認識や今後の見込み等について検討していることなどを記載してください。</p>
さまざまな主体が協働し、継続して課題解決に取り組んでいくために、今回の協働事業提案でNPO等に期待したいこと	<p>NPO等には、これまでに蓄積したノウハウを生かして、教育・居住・医療・福祉など生活に必要な日本語の習得支援と、就労に役立つよう日本語能力検定N3合格を目指した講座の実施を期待します。</p> <p>学校には、保護者やその家族などへの受講生募集に係る情報発信と会場の提供を期待します。</p> <p>市町には、受講生募集に係る情報発信への協力を期待します。</p> <p style="color: red;">【注】課題解決に向けて、NPO等やさまざまな主体と協働で取り組むことに対する期待や、今回の協働事業でどのような仕組みを構築し、継続して実践することを期待しているのか、などをください。</p>
課題解決に向けた県のこれまでの取組・今後の予定、協働事業において県が果たす役割等	<p>平成23年4月、飯野高等学校へ定時制課程を新設しました。飯野高等学校では外国人生徒を積極的に受け入れ、日本語習得支援に取り組んでいます。</p> <p>飯野高等学校では、次の2つに取り組めます。</p> <p>高等学校と大学の連携による地域の中学生を対象とした日本語習得支援及び学習支援。</p> <p>NPOとの連携による保護者及び地域住民を対象とした日本語能力検定N3講座。</p> <p style="color: red;">【注】これまで県で取り組んできたことや、今後取組予定をしていること、協働事業実施にあたって県が果たすことができる役割等について記載してください。</p>
想定する事業規模があればお書きください。	<p>1 謝金 講師謝金 12,000円×2時間×32回×2名=1,536,000円</p> <p>2 旅費 講師旅費 1,200円×32回×2名=76,800円</p> <p>3 その他経費 資料コピー代 100円×30名×2講座×32回=192,000円 広報チラシ作成・配布 80,000円 講座テキスト代 受講生用 1,500円×30名×2講座=90,000円 講師用 22,000円×2名=44,000円</p> <p style="text-align: right;">計 2,018,800円</p>
担当室	教育委員会事務局 学校教育分野 高校教育室
担当者	西川 俊朗
連絡先	059-224-3002

この様式は、公開することを前提として記載してください。